

〔有用遺伝資源の評価・利用〕

## 8月上旬まき施設コマツナの有望品種の選定

宮澤直樹・小坂井宏輔

(江戸川分場)

---

【要約】本作型では、極立性で株張りや揃いが良く、葉色が濃くカップリングが少ない「夏蒼天」、株張りや揃いが良好で、葉色が濃くカップリングが少ない「里まつり」、極立性で揃いが良好で、葉色が濃くカップリングが少ない「里のなつ」が特に有望である。

---

### 【目的】

コマツナは都内における生産量が野菜の中で最も多く、基幹作物である。また、コマツナの品種は多岐にわたり、生産現場では品種特性の把握が困難である。そこで本試験では8月上旬まき施設コマツナの品種特性を明らかにし、有望品種を選定する。

### 【方法】

品種は17品種(表2)を供試し、8月8日に近紫外線除去フィルムを展張したパイプハウスに条間14cm、株間5cmで播種した。施肥は全量基肥で、N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>Oを7-7-7kg/10a施用した。雨天時は側窓を閉めて管理した。生育調査は9月6日(播種29日後)に行った。

### 【成果の概要】

1. 生育期間中の気象条件をみると、生育期間中は平年より大幅に日照時間が長く、気温も高く推移した(表1)。
2. 生育調査の結果を表2に示した。草丈は24.6~37.6cmであった。
3. 節間長について、「スカイホワイト、神楽坂、里きらり」は高温により特に伸長しており、外観上も目立っていたため、本作の有望品種の選定からは除外する。
4. 収量性について、地上部重/最大葉長の値が高く、収量性が見込める品種は「夏蒼天、こいしい菜、乃木坂、春のセンバツ、ひと夏の恋、里まつり」であった。また、最大葉長・地上部重の変動係数が小さく、特に揃いが良かった品種は「里のなつ、里まつり、夏蒼天、春のセンバツ」であった。
5. 作業性について、極立性である品種は「里のなつ、春のセンバツ、ひと夏の恋、乃木坂、夏の甲子園、真夏の四番打者、夏蒼天」、側根量が少ない品種は「春のセンバツ」であり、これらは収穫または洗浄作業の効率が良好と判断される。
6. 商品性について、SPAD値が高い品種は「夏の甲子園、里のなつ、夏蒼天、真夏の四番打者、里まつり」であった。また、カップリング程度が少ない品種は、「よかった菜、春のセンバツ、里まつり、夏蒼天、真夏の四番打者、里のなつ、ひと夏の恋」であった。なお、高温期に発生が見られる芯枯れ症状は本作では確認されなかった(データ略)。
7. 以上の結果から、本作型では、極立性で株張りや揃いが良く、葉色が濃くカップリングが少ない「夏蒼天」、株張りや揃いが良好で、葉色が濃くカップリングが少ない「里まつり」、極立性で揃いが良好で、葉色が濃くカップリングが少ない「里のなつ」が特に有望である。

### 【残された課題・成果の活用・留意点】

1. 気候、栽培条件により、芯枯れ症状が発生する可能性があることに留意。

表1 栽培期間中の気温，日照時間の推移

月	半月	平均気温(°C)						日照時間		降水量	
		日平均		日最高		日最低		本年 (hr)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)
		本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
	2	29.4	+1.3	33.8	+2.3	26.8	+1.1	44	116	17	113
	3	29.0	+1.5	33.2	+2.1	26.3	+1.2	37	127	40	180
8	4	29.4	+2.2	32.7	+2.1	27.0	+2.3	54	178	7	36
	5	29.4	+2.1	32.8	+2.0	27.0	+2.3	49	180	18	143
	6	28.8	+2.7	32.1	+2.6	26.7	+3.3	51	154	8	48
9	1	28.5	+3.2	31.8	+3.2	26.0	+3.5	41	173	29	141

気象庁（江戸川臨海地点）のデータを使用。平年値は2013年～2022年の10年間の平均値を使用

表2 8月上旬まきハウスコマツナの品種特性

No.	品種名	種苗会社 <sup>a</sup>	最大葉長		地上部重		地上部重 / 最大葉長	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)	胚軸長 (mm)	節間長 (mm)	カッピング程度 <sup>b</sup>	側根量 <sup>c</sup>	草姿 <sup>d</sup>
			(cm)	c. v.	(g)	c. v.								
1	よかった菜	カ	37.6	0.04	41.9	0.23	1.11	9.5	41.0	2.0	16.7	1.8	2.4	やや開
2	いなむら	サ	31.7	0.07	36.7	0.25	1.16	8.6	51.3	1.4	16.1	4.0	2.5	立
3	里のなつ(MSX-1288)	ム	31.6	0.05	36.0	0.12	1.14	9.0	57.0	1.7	16.8	2.1	2.5	極立
4	こいしい菜	カ	30.7	0.07	41.1	0.24	1.34	9.4	45.0	1.6	14.6	2.8	2.1	立
5	春のセンバツ	トキ	30.5	0.05	38.8	0.17	1.27	8.9	51.4	1.6	13.8	1.8	1.4	極立
6	スカイホホワイト	ニ	30.1	0.10	48.4	0.35	1.61	8.4	36.7	1.2	29.3	2.7	2.3	やや開
7	いなせ菜	カ	29.5	0.08	29.6	0.31	1.00	8.1	42.7	1.1	10.4	4.8	3.2	立
8	里まつり(MSX-1243)	ム	29.2	0.04	36.3	0.19	1.24	9.2	53.4	1.7	13.1	1.9	2.3	立
9	ひと夏の恋	ニ	29.0	0.06	36.7	0.15	1.26	7.9	48.4	1.3	11.0	2.1	2.2	極立
10	美翠	ワ	28.8	0.09	31.6	0.24	1.09	9.8	42.7	1.2	18.7	4.6	1.9	中
11	乃木坂	ニ	28.5	0.07	36.6	0.21	1.28	9.1	53.5	1.4	11.3	2.0	2.3	極立
12	神楽坂	ニ	28.3	0.10	32.1	0.26	1.12	8.5	43.7	1.3	23.1	3.2	1.5	立
13	夏の甲子園	トキ	28.3	0.06	32.7	0.22	1.16	8.5	57.4	1.2	10.1	3.0	2.0	極立
14	まさみ	トー	27.0	0.07	27.2	0.22	1.01	8.8	52.1	1.8	16.5	4.7	2.1	立
15	里きりり	ム	25.1	0.04	33.5	0.18	1.34	9.1	51.6	1.7	20.1	3.3	1.5	立
16	真夏の四番打者	トキ	24.7	0.08	28.9	0.33	1.17	8.8	54.6	1.5	10.6	1.9	2.1	極立
17	夏蒼天(TTU-566)	タ	24.6	0.04	35.2	0.19	1.43	9.0	54.7	1.2	15.6	1.9	2.9	極立

8月8日播種，9月6日調査。調査は1区10株，2反復で実施した。そのうち，各区の最大葉長が最大および最小の株を除き，各項目の平均を算出。

a)ニ(日本農林社)，カ(カネコ種苗)，ム(武蔵野種苗園)，サ(サカタのタネ)，トキ(トキタ種苗)，トー(トーホク種苗)，ユ(雪印種苗)，ワ(渡辺農事)，タ(タキイ種苗)

b)カッピング：〔Σ(指数×指数別株数) / 調査株数〕 指数：1(弱)，2(やや弱)，3(中)，4(やや強)，5(強)

c)側根量：〔Σ(指数×指数別株数) / 調査株数〕 指数：1(少)，2(やや少)，3(中)，4(やや多)，5(多)

d)草姿：極立～立～中～やや開～開